

事務事業 No./名称	□サービス部門 消防-04 消防団運営事業 ■支援部門				ザイムスコード及び個別事業名						
					231	消防団運営事業					
主管課	消防総務課		関連課		233	団員福利厚生事業					
分野名	地域安全										
目標 (目標値)	消防団活動の充実・消防団員の確保										
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考							
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)							
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯								
運営資源 状況	決算値	44,121千円	44,793千円								
	(国・県)	3,409千円						指標と評価			
	(負担金等)							指標	団員の確保		
	(一般財源)	40,712千円	44,793千円					評価	○		
	人員配置数	0.6人	0.6人					◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	人件費	5,574千円	5,635千円						目標値	実績値	
	協働の パートナー										
事務事業 運営経費	総事業費	46,286千円	50,428千円	20年度	○	○					
	市民1人当 りの経費	262円	286円	21年度	○	○					
	対象者1人 当りの経費			22年度	○						
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名										
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・消防団員の100パーセント確保									
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・町内会や消防団員OBを通じて、入団を勧誘するとともに、ポスターの掲示やテレホンサービス等 の広報を実施した									
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・消防団員を100パーセント確保することができなかった									
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・消防団に対する市民の理解を得られるよう、機会あるごとにアピールしていく									
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)							
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了											
評価結果	改善の必要性				評価結果	改善の必要性					
B	無	団員確保のため、必要に応じて説明 会などを開催し、入団者の勧誘を促 進する			B	無	消防団員が災害時、適切に活動で きるよう事業を充実させていく				
課長名		堀 英彦		部名・部長名		消防本部 畑 光則					